

3 道路整備の取組

(1) 京奈和自動車道の整備

京奈和自動車道は、奈良県の南北軸となる重要な幹線道路であり、国とNEXCO西日本により整備が進められています。京奈和自動車道の整備により、移動時間の大幅な短縮や定時性の確保による企業立地の促進、観光振興などの地域経済の活性化、緊急医療施設へのアクセス向上による救急医療体制の強化等、様々な効果が期待されます。また、「紀伊半島アンカールート（16ページ参照）」の一部を形成し、災害時には救命救急活動や物資輸送の緊急輸送道路としての役割を担っています。

奈良県では、京奈和自動車道の早期全線開通に向け、整備推進を国に働きかけています。



京奈和自動車道の進捗状況

全体		
京奈和道全体	総延長	約120km
	整備済み延長	約88km
	整備率	73%
奈良県域	総延長	約48km
	整備済み延長	約31km
	整備率	65%

区間別	
大和北道路	
(仮称)奈良北IC～(仮称)奈良IC	調査設計・用地取得を推進中
(仮称)奈良IC～郡山下ツ道JCT	用地取得・工事を推進中
五條道路	
五條北IC～和歌山県境	平成18年6月に開通

区間別	
大和御所道路	
郡山下ツ道JCT～郡山南IC	平成27年3月に開通
郡山南IC～樺原北IC	平成18年4月に開通
樺原北IC～樺原高田IC	工事を推進中
樺原高田IC～御所IC	平成24年3月に開通
御所IC～御所南IC	平成27年3月に開通
御所南IC～五條北IC	平成29年8月に開通

令和5年3月31日時点

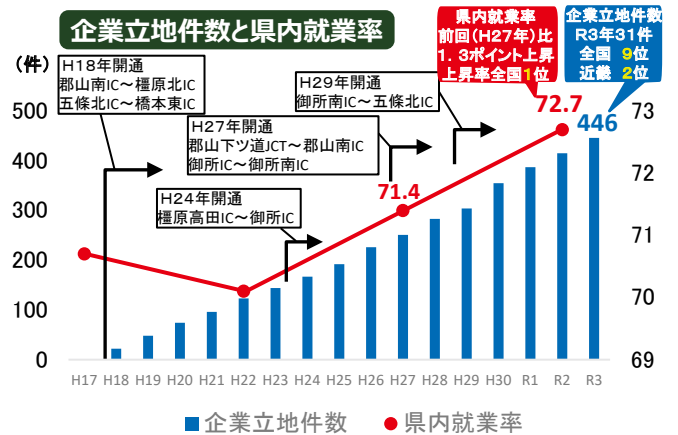
京奈和自動車道のストック効果

● 企業立地の促進

初の開通以来、周辺の工業団地では、令和3年までの企業立地件数が累計446件となりました。
それに伴い5,894人の雇用の場が創出されました。

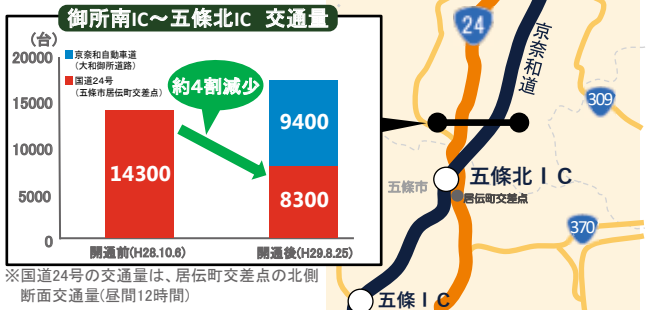
● 県内就業率の上昇

県内の働き先が増えることで、令和2年の県内就業率は前回（H27年）と比べ1.3ポイントの上昇で、全国トップの上昇率となり、奈良県の目指す脱ベッタタウンが進んでいます。



● 国道24号の慢性的な渋滞が緩和

京奈和自動車道の開通で、全体の交通量は増加していますが、並行する国道24号の交通量は減少し、円滑に通行できるようになっています。交通量の減少により、交通事故の減少も期待されます。



● 観光周遊ルートの形成

大阪・関空から奈良・和歌山の世界遺産を結ぶ新たな観光周遊ルートが形成され、県全域の観光振興につながります。



TOPIC トピック

京奈和自動車道の工事を着実に推進しています

「大和御所道路（仮称）橿原JCT（大阪方面接続ランプ）」の開通時期が令和8年春と公表されました。開通により、大阪府と奈良県南部地域との交通アクセス性が向上するとともに、新堂ランプ交差点の混雑が緩和されます。



3 道路整備の取組

(2) 紀伊半島アンカールート

県南部地域における防災機能向上及び地域活性化を図るとともに、紀伊半島全体にとっての道路ネットワークの代替性及び多重性を確保し、近い将来発生が危惧される南海トラフ巨大地震等の大規模災害への対応力の強化を図るため、国と県で連携して「紀伊半島アンカールート」の早期整備に取り組んでいます。

令和4年4月、重要物流道路として、五條新宮道路（国道168号）及び奈良中部熊野道路（国道169号）が指定されました。

紀伊半島アンカールートとは…

紀伊半島の骨格となる京奈和自動車道、近畿自動車道紀勢線、それを結ぶ五條新宮道路（国道168号）、奈良中部熊野道路（国道169号）の形が船の錨（イカリ：anchor（アンカー））の形に似ていることから呼称されています。



五條新宮道路（国道168号）

五條新宮道路は、京奈和自動車道と近畿自動車道紀勢線を南北に結ぶ地域高規格道路です。現在、以下の事業箇所の早期整備と、未事業化区間の事業化に向けて取り組んでいます。

奈良中部熊野道路（国道169号）

奈良中部熊野道路は、県南部地域の地方創生、国土強靱化の観点から重要な路線です。現在、以下の事業箇所の早期整備と、未事業化区間の事業化に向けて取り組んでいます。

新天辻工区

平成28年度に大規模法面崩落により70日間の通行止めが発生



▲五條市西吉野町西野（平成28年4月）



▲五條市西吉野町西野（平成25年9月）

国道168号の中で冬期間通行の最大の難所



▲天辻峠（五條市）で立往生する車両（平成28年1月）

十津川道路（Ⅱ期）

平成27年度に大規模法面崩落により61日間の通行止めが発生



十津川村桑畑（平成27年7月）

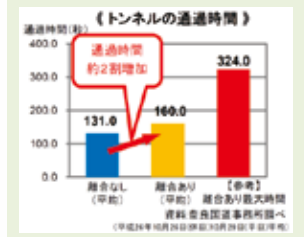


被災時の通勤・通学状況
十津川村桑畑



伯母峯峠道路

現道の新伯母峯トンネルは車両のすれ違いが困難な状況



下北山村前鬼～上池原

現道は急カーブが連続し線形不良であり車両のすれ違いが困難な状況



五條新宮道路（国道168号）の整備状況

長殿道路

現在、長殿道路の工事が進んでいます。



▲工事のようす

風屋川津・宇宮原工区

現在、風屋川津・宇宮原工区の工事が進んでいます。



▲工事のようす

TOPIC

阪本トンネルが貫通しました

現在、阪本工区の完成に向けて工事を引き続き進めています。



▲工事のようす



▲トンネル貫通（令和4年12月）



奈良中部熊野道路（国道169号）の整備状況

御所高取バイパス

現在、御所高取バイパスの調査・設計を進めています。



▲完成イメージ

高取バイパス

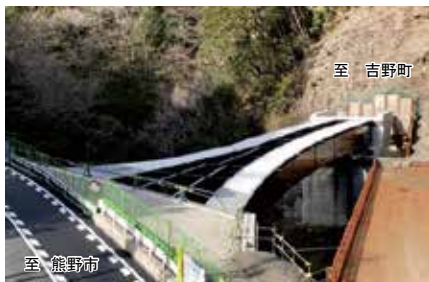
現在、高取バイパスの工事を進めています。



▲工事のようす

伯母峯峠道路

現在、伯母峯峠道路の工事が進んでいます。



▲工事のようす

安全で安定した通行の確保！

国道169号は、三重県東紀州地域から関西圏への輸送ルートであるとともに、吉野郡南東部から南奈良総合医療センターなどの高次医療施設への救急医療活動を支援する道路としての役割を担っています。国道169号の整備により、平常時・災害時において、安全で安定した通行が確保され、強靱な道路ネットワークが構築されます。



▲南奈良総合医療センター（大淀町）



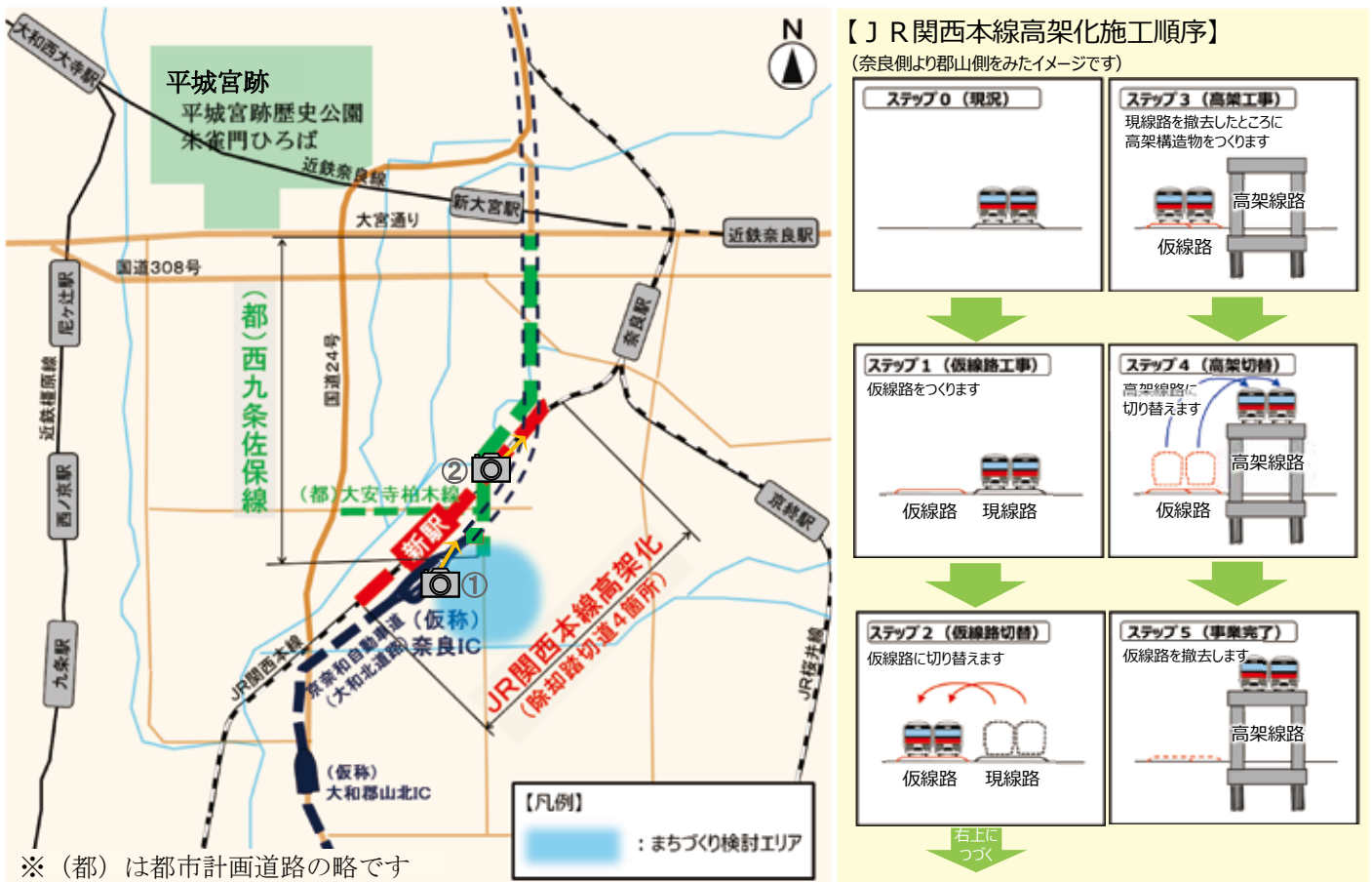
▲急カーブによる救急車両のすれ違い（下北山村上池原）

(3) (仮称) 奈良 I C 周辺〔(都) 西九条佐保線等〕の整備

奈良市中心市街地と京奈和自動車道（仮称）奈良 I C を結ぶアクセス道路であり、まちづくりの骨格となる（都）西九条佐保線や（都）大安寺柏木線の整備及び J R 鉄道高架化、新駅設置を推進します。

また、（仮称）奈良 I C 周辺では、I C と新駅を核とした地域資源を活用した魅力あるまちづくりに取り組むとともに、県内初の高規格道路と鉄道の結節による周遊性の向上を図ります。

■ (仮称) 奈良 I C 周辺位置図



■ J R 関西本線の高架化工事の進捗状況



▲ J R 新駅周辺



▲ 南大安寺踏切付近 (仮線路工事)

(4) 渋滞の解消

国道や県道で発生している渋滞の対策について、国や警察などと連携するとともに、道路利用者など県民意見を反映し「奈良県みんなで作る渋滞解消プラン」を策定し、本プランに基づき重点的に取り組んでいます。平成25年1月には、対策効果の検証や、新しい渋滞情報に基づく渋滞箇所の抽出等により、「地域の主要渋滞箇所」63区間で147箇所を特定し、公表しています。

渋滞対策実施後には効果検証を行い、必要に応じて対策案の改良や追加の検討を行っています。これまでに20箇所では対策の効果を確認されたため、渋滞箇所を127箇所に見直しました。

渋滞対策の実施

●ソフト対策・速効対策を重視した取組

パーク&ライド施策などの利用者に協力を求めるソフト対策や用地買収を伴わない左折レーン設置や右折レーン延伸など、早期の効果発現を期待する速効対策を重点的に実施します。

●ハード対策を実施する箇所

速効対策・ソフト対策と併せて、骨格幹線道路ネットワークの整備や、用地買収を伴う左折レーン設置や右折レーン延伸を実施するなど、ハード対策を進めます。

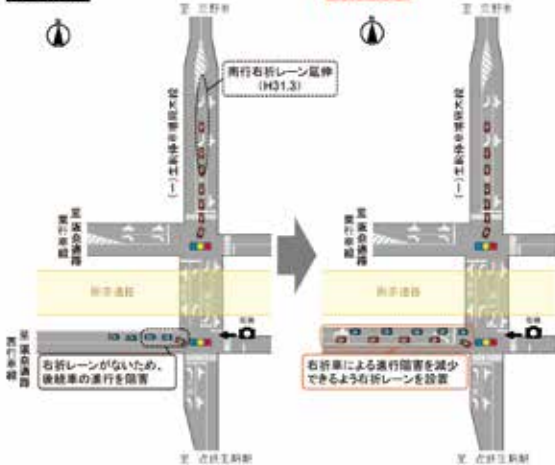
速効対策の実施例

道路の計画▶測量・設計▶**土地の買収**▶工事▶**完成**

■(主)大阪生駒線 阪奈道路生駒IC交差点 (R2.3完了)

対策前

対策後



道路区域の土地を活用し、右折レーンを新設

ハード対策の実施例

道路の計画▶測量・設計▶**土地の買収**▶工事▶**完成**

■国道24号 葛本町交差点 (R4.3完了)

対策前

対策後



用地買収を行い、左折レーンを設置

ソフト対策の実施例 奈良中心市街地の交通対策 (20ページ参照)

TOPIC
トピック

中和幹線渋滞・安全対策協議会を立ち上げました

県道中和幹線は、中和地域の東西方向の幹線機能を担っていますが、交通量の増大等から渋滞や交通事故の発生など、課題が発生している状況です。

県では、令和4年度に「中和幹線渋滞・安全対策協議会」を立ち上げ、学識者、沿線5市町、国と、対策案について議論してきたところ。協議会での議論を踏まえ、対策を実施していきます。



▲中和幹線渋滞・安全対策協議会のようす

(5) 奈良中心市街地の交通対策

奈良中心市街地には、世界遺産「古都奈良の文化財」などの重要な史跡や文化財が多数点在し、多くの観光客が訪れています。一方で、観光シーズンの土日祝日等には、車での来訪が増え、中心市街地での交通渋滞や環境悪化といった課題があります。

そこで、より多くの方に奈良を楽しんでいただきながら、中心市街地の渋滞緩和・環境負荷低減を両立するため、電車やバスなどの公共交通機関で訪れていただくよう呼びかけるとともに、車での来訪者に対しては、パーク&ライドの取組を行っています。さらに、ぐるっとバスの運行や木簡型一日乗車券の発行、バスの位置情報を提供するバスロケーションシステムの運用など、奈良市内を公共交通で周遊していただくための事業を実施しています。



▲公共交通利用促進のHP「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」(スマホ版)



▲交通状況のリアルタイム配信(「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」)



▲ぐるっとバス運行のようす(近鉄大和西大寺駅南口)



▲サイネージ版バスロケーションシステム(大仏殿前駐車場)

ぐるっとバスの運行及びパーク&ライド駐車場の開設



▲令和5年度のぐるっとバスルート・パーク&ライド駐車場位置図

TOPIC トピック

木簡型一日乗車券を発行しています

奈良市内の公共交通による周遊観光の促進のため、木簡型一日乗車券を発行しています。

木簡型一日乗車券は、500円で「ぐるっとバス」と奈良交通路線バスが1日乗り放題になるお得な乗車券です。

奈良県コンベンションセンターで通年販売しており、JR・近鉄奈良駅の奈良交通案内所では観光シーズンの土日祝日に販売しています。県産材でできており、使い終わった乗車券は奈良観光の記念にもなります。



▲木簡型一日乗車券



▲木簡型一日乗車券のご案内



(6) 自転車周遊環境の整備

県内には、安全で快適でわかりやすい全長約600kmのサイクリングルート「奈良まほろばサイク∞リング（ならクル）」があります。また、令和3年4月には、京都嵐山から奈良を通り、和歌山港に至る全長約180kmの「京奈和自転車道」がつながりました。令和3年度からは、広域的な周遊観光サイクルルート「世界遺産周遊サイクルルート」の整備を行っています。

県では自転車のソフト施策にも取り組んでおり、自転車の休憩所やサイクリストにやさしい宿、サイクリストにやさしい駐車場の認定等も行っていきます。

自転車活用推進に向けた主な取組

● 世界遺産周遊サイクルルートの整備

大和平野の3つの世界遺産等を結ぶルートの案内誘導サイン等を整備



● 自転車利用環境などの整備

- ・サイクリストにやさしい駐車場の認定
- ・自転車の休憩所の認定
- ・サイクリストにやさしい宿の認定
- ・サイクリングマップの作成 など



▲サイクルステーション



▲サイクリストにやさしい宿



▲自転車の休憩所



▲サイクリストにやさしい駐車場



▲京奈和自転車道サイクリングマップ

TOPIC トピック

自転車を活用した取組の推進

○大和川サイクル月間

サイクリングをきっかけとして大和川周辺の魅力を感じてもらうことを目的に、奈良県、大阪府、大和川周辺自治体、国土交通省が連携して、令和4年10月23日（日）から11月30日（水）までの約1ヶ月間、「大和川サイクル月間2022」を実施しました。主な取組として、奈良県と大阪府が主催で、大和川流域エリアの地域資源を自転車で周遊する、「大和川周遊サイクルスタンプラリー2022」を開催しました。令和5年度も大和川サイクル月間を実施する予定です。

○近鉄田原本線でサイクルトレインを運行

奈良県、田原本線沿線7町及び近畿日本鉄道(株)が連携して、田原本線の利用促進と沿線活性化を目的に、令和4年4月（9日間）に初めて通常ダイヤの電車でサイクルトレインを運行しました。秋の行楽シーズンの約3ヶ月間（9月17日～12月11日）にも運行しました。



▲新王寺駅改札口



▲車内ようす



▲大和川サイクル月間 チラシ